

2021年度 岡山大学大学院法務研究科
法学既修者入試B日程 試験問題

公法系（憲法）

<解答上の注意>

1. この問題冊子は、この表紙を含め2枚である。
2. 配点は、50点である。
3. 表裏に解答欄がある解答用紙は、1枚が配布されている。
4. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を算用数字で記入し、また試験科目欄に「公法系」と記入すること。なお、整理番号等その他の記入欄には記入しないこと。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
6. 解答の際は、黒又は青のボールペンを使用すること。
7. 六法は貸与品なので、折り曲げや書込みをしないこと。なお、書込み・汚損等がある場合は申し出ること。
8. 試験終了後、指示があるまで席を立たないこと。
9. その他は、すべて監督者の指示に従うこと。

【問題】

Xは、A大学法学部を卒業し、Y株式会社に3か月の試用期間を設けて、管理職要員として採用された。Yは、試用期間満了直前、本採用を拒否する旨をXに通知した。本件拒否の理由は、Xが、大学在学中に反科学的かつ反社会的な思想を信奉するサークルに所属していたことをYに秘匿して、採用試験の際に提出した身上書に虚偽記載を行い、面接試験においても自らの信条に関わる質問に虚偽の回答をしており、Xには管理職要員としての適格性がないと判断されたことにある。

この事例に含まれる憲法上の問題点について、参考とすべき判例や想定される反論を踏まえて論じなさい。

《公法系問題 以上》

【出題意図】

本問は、自由権及び平等規定の私人間適用という基本的な論点について問うことで、判例の理解を含めて、基礎的な知識及び思考力の有無を測ることを目的としていた。